



青年海外協力隊は春と秋の年二回、募集期間があります。今回の  
帰国後談は現在札幌市にお住まいで、そのような募集説明会や  
JICA国際協力出前講座等でもお話をいただいている江藏さんです。

# 青年海外協力隊 帰国後談

青年海外協力隊OB 江藏 弘文さん



実験試験用の練習を指導する

私は2000年7月から2002年12月まで、万年雪を抱えるキリマンジャロと、四国と同じ面積をもつセレンゲティ国立公園で有名な、東アフリカのタンザニアで、理科教師として活動してきました。

首都ダルエスサラームから500kmほど離れたサメという小さな町の学校に赴任しました。雨季でもあまり雨が降らず、水がなく、緑の少ない砂漠の町といわれていました。

タンザニアは小学校が7年、中学校が4年、高校が2年というシステムになっています。進学率は、中学校に進む生徒が全体の3割くらい、高校になるとその内の1割くらいなので、全体の数%しか高校には進学しません。そして、かれらは、タンザニアで唯一の総合大学であるダルエスサラーム大学進学を目指します。

私が赴任したサメセカンダリースクールは公立の学校で、中学高校が一緒になった中規模校でした。高校の生徒はタンザニア各地から集まっています。男子は寮に住んでいます。私が教えていたのは、その高校生の2つの学年で、主に物理と数学を週10コマ(1コマ80分)教えておりました。生徒は基本的に大学進学を目指して来ている優秀な生徒たちです。高校生といつても大学進学を目指した予備校生のような感じです。実際、2年間で選択コースによっても違いますが、理系の場合、数学、物理、化学の3教科しか勉強しません。タンザニアには、高校卒業時に国家試験があります。2年間の学習の評価がされるものであると同時に、次の大学進学を決定する大切な試験です。内容は各教科2回の筆記試験(ペーパーテスト)とプラクティスという理科実験の試験があるのです。

## 研修員とともに、JICA札幌オリエンテーションを聴講してみませんか？

JICA札幌では海外から来る研修員に対して、研修期間の冒頭に日本についての基礎的知識を学んでもらう「オリエンテーション」を実施しています。

このたび、このオリエンテーションを一般の方にも研修員と共に聴講していただくことができるようになりました。今年度はあと3回実施予定ですが、下記日程表にあるように「日本の教育制度」、「歴史・文化」、「政治・経済」等について、研修員に応じた言語でこれらを紹介するものです。

ご希望の方は、開講日の1週間前までに下記担当までメール、電話またはFAXにてお申ください。

詳細についてはJICA札幌ホームページ・イベント情報でもお知らせしています。



9月30日に行われたオリエンテーションの様子。国別研修「コロンビア地方行政開発計画」で来日9名の研修員たちにスペイン語でオリエンテーションを行いました。

<http://www.jica.go.jp/branch/hics/tpl/event.html>

### 日程

	木曜日	金曜日
使用言語	13:20~14:50 日本の教育	15:00~17:00 日本の歴史・文化
英語	1月20日	1月21日
ロシア語		1月21日
ロシア語		2月18日

※訳説はございません。ご了承下さい。

照会先：NRC札幌国際センター内 担当：佐々木  
TEL:011-866-8680 FAX:011-866-8425 E-mail:hics@nrc.or.jp

写真は、その実験試験用の練習を指導しているひとコマです。電位差計を使って、未知の導線の抵抗値を調べる作業をしています。実験機材は古く、数も少ないです。壊れている機材を使えるように直して、うまく工夫しながら実験の練習をしました。生徒たちは、電流計の針の読み方すらわからないほど、実験機材に触れた経験が少ないので、まず、実験機材に慣れて、機材をこわさず扱えるようになるのが先決でした。

今でも当時の生徒からメールが届くことがあります。生活は貧しいけれど純粋な心を持つた彼らの姿を思い出すと本当にうれしいものです。そして、一生涯の友人と呼べる人がタンザニアの地にいるということが、自分にとって最高の財産になっています。私は現在、教員免許取得のため通信教育で学んでおり、将来的には教師として教育という場で国際協力ができたら幸せだと思っています。



江藏 弘文  
国名：タンザニア 職種：理科科教師

JICA札幌ではこのようなJICAボランティアの現地活動写真をパネルにして、学校祭・地域の国際協力イベント等に対して貸出を行っています。貸出についてはJICA札幌広報担当の和田・西道までお問い合わせください。

## JICA教師海外研修参加者決定！

平成16年度JICA教師海外研修については、で、あい33号及び34号で募集をお知らせしていましたが、選考の結果、今般9名の先生方の参加が決定しましたのでお知らせします。先生方は11月と12月の2回の事前国内研修を経て平成17年1月5日から15日までエジプトに派遣され、現地での青年海外協力隊等のJICA事業現場、学校等の教育現場訪問等の研修を行います。

JICA教師海外研修は昨年度までは全国一斉に夏休み期間に行われていましたが、今年度は各国内機関ごとの実施となり、JICA札幌・JICA帯広合同で冬休み期間に海外派遣を行うことになりました。

先生方は研修により、開発途上国の現状、日本との関係や国際協力への理解を更に深め、その成果を次代を担う児童・生徒の教育に役立て、教育現場で国際理解教育・開発教育を推進する中核となることが期待されています。

NO.	参加者氏名	学校名
1	黒川 貴功	上ノ国町立小砂子小学校
2	越山 真史	美唄市立西美唄小学校
3	谷口 大樹	芽室町立芽室西小学校
4	相原 朋美	占冠村立占冠中学校
5	高井 巍	札幌市立美香保中学校
6	松田 裕介	釧路市立北中学校
7	吉野 光	北海道千歳北陽高等学校
8	岡穂 義雄	北海道札幌清田高等学校
9	柴田 政二	北海道帯広農業高等学校